

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立不動寺小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒920-0173

石川県金沢市不動時町イ33

E-mail : hudouji-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : http://www.kanazawa-city.ed.jp/fudouji-e/

児童生徒数：男子 58 名 女子 85 名 合計 143 名

児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

テーマ「わが町不動寺・ふるさと不動寺」

### 1 ユネスコスクールとしての取組

#### 3年「森の学習～森と友だち」

3年生は学校の裏山を活用して、しいたけ栽培を中心とした里山利用の学習を行っている。森林再生課や地域の方々の協力を得て、2年時の3月にしいたけの菌をうえ、その後のしいたけの成長を観察してきた。成長を観察する中で、しいたけの生育しやすい環境やどんな世話が必要かを学び、1年を通して活動してきた。

裏山の間伐材を見学した後に、なぜ間伐が必要か学び、間伐材の利用方法について考え、間伐材を利用してペン立てを作成した。

しいたけの生育しやすくするために、天地返しが大切であることを体験を通して学んだ。また、森林が健全に保たれるために、どのような手入れが必要で、どのような自然の営みがあるかも学び、子ども達は森づくりの大変さと大切さを感じていたようだった。

1月には講師を招いて収穫したしいたけを料理し、子ども達はその新鮮な旬の味覚を楽しんだ。

#### 4年「石川の伝統工芸を伝える～人々の願いを感じとろう～」

4年生は金沢の伝統工芸を学ぶ中で、特に二俣の和紙づくりについて深く調べた。自分たちで牛乳パックやトイレットペーパーを使った紙漉を行った。材料や作り方から自分たちで調べ、実際に紙漉を行うことでその難しさに気付いたようだ。

また、学校の裏山の粘土を利用し、電気釜や登り窯を使って、焼き物づくりも体験した。実際に成形をしてみて、自分たちが使っている焼き物はなぜあんなにきれいな形をしているのか疑問をもった。そこで社会科の学習と関連して能美市の九谷焼の学習を行った。成形職人や絵付け職人の工夫や努力を知り、伝統工芸の技に対する興味・関心を高めることができた。

他にも河原市用水の歴史について実際に用水を見学したり、聞き取り調査を行ったりして、先人の苦労や業績を知ることができた。

#### 5年「古代米作りから見えるふるさと不動寺」

不動寺地区では、ふつうの米の他にも「古代米」という品種の米の栽培も行われている。そこで、地域の人々の田を借りて、地域の方々の手伝いや援助を受けて、自分たちも米作りを体験してみようと学習に取り組んだ。手作業による田植え、稲の観察や生き物調べ、稲刈りやはさがけの作業など、実際に体験してみて、収穫に至るまで様々な苦労や工夫があることを学んだ。

また、収穫した古代米をPTAのバザーで販売したり、全校に古代米でつくったおはぎを配ったり、商品として売るためにどんな工夫をしなくてはいけないかも学ぶことができた。

#### 6年「不動寺の歴史をさぐる」

不動寺地区は古代・中世の頃から栄えた地区であり、歴史的な伝承話もいまだに残されている。そこで、6年生は昔の不動寺小学校の様子や校区の町の名前の由来、城址や寺院などの歴史的な建造物について調査を行ったり、文献を読んだりして調べ上げた。調査活動では、地域の方々にインタビューしたりアンケートをとったり、具体的な事実を集めることができた。実際に歩いて回ったり、地域の方々の話を聞いたりして、地域への愛情もわいたようだ。また、獅子舞や祭りなど地域に継承されている行事についても調べ、自分たちがこれから受けついでいきたいという思いをもつことができた。

社会科で江戸時代の参勤交代や金沢城について学習し、不動寺から金沢城まで歩く遠足

を実施した。歴史を感じながら歩くことができた。

今年度は朝日小学校との交流を行い、朝日小学校の歴史を調べ、学習発表会においてはお互いに調べたことを発表し合い交流を深めた。

## 2 成果と課題

### (1) 児童の考え方の変容や新たな行動について

前年度の学習発表会を受けて、どの学年も見通しを持って学習に取り組むことができた。また、校区の自然や人々とふれあう充実した体験活動を行うことによって、ふだん何気なく過ごしている地域を見直す機会となり、「わが町不動寺・ふるさと不動寺」という意識を児童なりに感じ、地域への愛着と誇りを持つことができたようだ。

ただ、4つの段階のうち「知る」「関わる」「広める」に比べて「考え行動する」がまだ弱い。発表会をして終わりではなく、より追究意欲が高まるような学習構成や手立てが必要である。

### (2) 学習内容の充実について

本校の学習内容にはこれまでの蓄積があり、地域教材やテーマについてもある程度決まった活動になっている。しかし、どの学年も昨年度をほぼ踏襲した内容となったので、「こんなことを見つけてきたよ」「最近気になることがあって…」と子どもが主体的な問題解決的な学習となるように内容を検討していきたい。

今年度は国語科、社会科を中心に教科との関連を図ることができた。金沢小中一貫教育の方策として総合的な学習の時間の情報交換や発表会の計画を立て、次年度に実施する。

### (3) 情報の発信について

学習発表会は一学年下の児童や保護者、他校に行き、相手を意識しての発表の場となるように取り組み、どうすればわかりやすく伝えることができるか工夫する姿を見ることができた。また、玄関に掲示板を設置し、学習した内容を掲示したり、ホームページ上に公開することもできた。また、学級便りで学習発表会のお知らせをしたことで、保護者や地域の方々にも見て頂いた。他校との交流は朝日小学校と年間に数回行うことができたので、次年度は小中一貫教育の進捗とあわせて中学校区内の小学校との交流を探っていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

■ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ )